

【利用者支援状況】

毎日の保育は、子どもたちの発達を理解した上で、それぞれの年齢に適した内容を選択して組み立てました。特に、季節に合った活動を取り入れることで、自然に対する興味も大きくなりました。

保護者とは積極的に意見交換するように努め、一緒に園づくりをしているという意識が高まりました。

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	9	16	23	24	24	20	116
29年度	7	18	22	24	24	23	118

【主なできごと】

年間行事予定 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災訓練 毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施した。
- 防犯訓練 防犯教室、防犯訓練を年1回ずつ実施した。
- 健康管理 嘱託医による園児の健診、職員の定期診断及び職員の細菌検査を毎月実施した。
なおノロウイルスの警戒時期(10～3月)には調理職員を対象にノロウイルス検査を実施した。
健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出した。
玄関に、マスクと消毒液を常備し、保護者へも使用を促した。
- 衛生管理 おもちゃの消毒や室内の清掃、感染症の流行前には予防を、流行時には消毒を徹底した。
- 安全管理 毎朝、遊具点検を行なった。

地域交流

地域の中学生・高校生や支援学校の生徒の職場体験、専門学校生の実習等、学びの場として園を提供できました。

また行事には趣味のサークルの方々の参加もありました。

「夏まつり」と「お相撲さんとおもちつき」には昨年を上回る地域の方々の参加があり、とても喜んでいただけました。

「掛川市民オーケストラ」の演奏会、いもほり、合同避難訓練、合同防災訓練、「さくらコンサート」出演など、「希望の丘」内事業所との交流事業が増えました。

研修会実施状況

別途添付

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	保護者 (無記名)	園で怪我をした場合の対応について、園の方針を明確にしてほしい。誰かに怪我をさせてしまった場合も、保護者に伝えてほしい。	子ども同士のトラブルが原因で怪我が発生した場合は、諸事を検討し、双方の保護者にお伝えしている旨を回答文書で全クラスに掲示。あくまでも園で起こったことは園の責任であることも明記した。
1件	保護者 (無記名)	スライドショーの写真で、写っている子といない子の差が激しい気がする。どの子も平等に撮影してほしい。	毎日のスライドショーで使用する写真は、あくまでも園生活の全体の様子をお知らせするものであることを回答文書に明記しました。職員へも、クラス全体の様子がわかるものを撮影するよう確認した。
2件	保護者 (無記名)	スライドショーの写真は全体の写真でも、インターネットで販売する写真はこれまで通り、子供の表情がわかる写真にしてほしい。	写真は、あくまでも園生活の全体の様子をお知らせするものであることを回答文書に明記した。
1件	保護者 (無記名)	送迎時に、玄関付近や駐車場で保護者がいつまでも話しているのをやめさせて欲しい。話している間、子供から目が離れていて危険。話しかけられるとこちらも帰りづらくなる。園から呼びかけてほしい。	園児の事故防止のため、駐車場の混雑防止及び道路の渋滞防止のため、送迎後は速やかに車をご移動いただくよう掲示をした。